

## 共通教育科目の履修に関するQ&A

**Q. 修得することができなかった科目を、自分の所属する学部・学科以外の学部に  
に配当されている科目で再履修することができますか？**

**A. できます。**

再履修では、一部科目を除き(※)、どの科目区分でも修得できなかった科目と同一名称の科目が他の学部用に開講されている場合には、原則として履修することができ、卒業要件となります。同名であれば、学期が違っていても履修可能です。

※指定の学部以外は履修を制限している科目もあります。シラバスや科目名の注釈で判断してください。

例)秋～冬学期開講の「情報社会基礎」は外国語各部のみ履修可能、など。

**Q. 抽選で決定した総合英語を、他の定員が空いているクラスへ変更することは  
できますか？**

**A. 正規配当はできません。再履修はできます。**

正規配当の総合英語は、抽選後のクラス変更を許可していません。ただし、再履修の場合は削除を受け付けますので人文学研究科マルチリンガル教育教務係(全学教育推進機構 管理・講義 A 棟 2 階)へ申し出てください。その後、ご自身で他のクラスへ履修登録してください。

**Q. 自動的に登録されている科目を削除したいのですが。**

**A. 原則は削除できませんが、やむを得ない理由があると認められる場合  
のみ、教務係窓口で対応します。**

例えば、休学していたので最初から履修しなければならない。他に選択肢の少ない専門基礎教育科目の再履修がその曜日時限にある、など。早めにご相談ください。

**Q. 履修希望(抽選)登録で、登録できない(表示されない)科目があるのです  
が？**

**A. その科目と同名の科目を既に修得していれば、登録できません。**

たとえ内容が異なる場合でも、原則は同じ名称の科目を 2 回以上修得することができないため、システムで除外されています。

同じ名称の科目を 2 回以上履修できる例外は、「積重ね科目(総合英語、グローバル理解、〇〇語中級などの、マルチリンガル教育科目の一部)(※)」のみです。

Q. 総合英語やグローバル理解などの科目を、春～夏学期で修得できなかった場合、秋～冬学期で配当以外に追加で履修できませんか？

A. 追加で履修することができます。

「積重ね科目(総合英語、グローバル理解、〇〇語中級などの、外国語教育科目の一部)(※)」については、修得できなかった科目数までは再履修登録をすることができ、卒業要件とすることができます。再履修登録で希望登録してください。

また、「積重ね科目」は学期を指定していませんので、秋～冬学期で修得できなかった科目を次年度秋～冬学期で履修しなければならないということはありません。

※「**積重ね科目**」とは、同一名称だが異なる内容を繰り返し履修することを想定している科目のことで、全学共通教育科目「履修の手引」の科目表における灰色背景の科目。  
修得できた場合に、科目の後ろに修得した順番を示す連番(1, 2…)が付く。  
例:総合英語、〇〇語中級、国際コミュニケーション演習、地域言語文化演習、など

Q. 「積重ね科目」の場合で、同じ教科書(テキスト)を使っている科目は単位にならないと聞きましたが？

A. 「積重ね科目」でも、「既に修得した科目と同じテキストの同じ取扱範囲(章)」である場合は、単位とすることができません。

全く同じ内容を修得しても意味がないことから取られている措置です。履修希望(抽選)登録の段階から、シラバス等で利用テキストをよく確認して登録してください。

なお、テキストが異なれば、「同じ担当教員である」ことは、問題ありません。

また、「同じ担当教員でテキストを用いない」場合は、原則履修ができる科目とみなされていますが、念のため、授業開始時に担当教員に確認してください。

Q. 履修希望(抽選)登録の期間は休学／留学しているのですが、希望登録はできますか？

A. 次の学期に在学する予定であれば、希望登録はできます。

インターネットに接続できれば自分で登録ができますので、休学／留学中でもご自身で登録を行ってください。

Q. 第1外国語(英語)の科目の再履修をする場合、修得できなかった科目と名称や区分が同じ科目でなければいけませんか?(2018年度以前入学者対象)

A. 学部によって異なります。「履修の手引」を参照してください。

例えば、平成29年度入学の文学部であれば、全学共通教育科目「履修の手引」の第1外国語の科目表のページを参照すると、「大学英語」と「実践英語・専門英語基礎」を区別せず、8単位が必要となっています。つまり、再履修の場合について、「大学英語」と「実践英語・専門英語基礎」は特定数の単位を修得しなければならないということではなく、「○」の付いている科目から8単位修得すればよいということになります。

この事案に限らず、入学年度の「履修の手引」をよく確認してください。

Q. 現カリキュラムの開始によって、授業科目名に変更が生じていることについて、旧カリキュラムの自分がどの授業科目を受ければよいか、どうすればわかりますか?(2018年度以前入学者対象)

A. 現カリキュラムと旧カリキュラムの間で科目名の読替を行います。

卒業に必要な単位を修得できるよう、現カリキュラムの授業科目を履修・単位修得することで、自分の卒業要件科目である授業科目に読み替えられて単位修得できるようにしています。

授業科目間の具体的な読替内容については、全学教育推進機構 HP や KOAN 掲示板等に掲載されております読替表を参照してください。

Q. 旧カリキュラムの再履修なのですが、自分がどの抽選グループを見ればよいのか、画面からわかりません。(2018年度以前入学者対象)

A. 画面上に表示される抽選グループの名称は、主な履修対象である学部新1年生に適用される現カリキュラムに準じた名称となっています。  
(例:基盤教養(月5))

履修が必要な場合は、

- ① 自分が修得したい科目【読替先】と、そのために必要となる現カリキュラムの科目【読替元】を確認。
- ② シラバス等にて、【読替元】授業科目の開講曜限と科目区分を確認。

の上、KOAN から適切な授業科目を選択して希望登録してください。